

備前市議会議長 守井秀龍 殿

請願者 備前市日生町日生2090-3  
子ども達への平等な教育・保育を  
求める実行委員会  
松 下 香  
紹介議員 松 本 仁

請 願 書

1 請願の要旨

マイナンバーカードの有無による教育の機会均等を妨げる施策をやめ、未来の備前市を支える全ての子どもに平等な教育支援を求める請願

2 請願の趣旨

備前市教育庁は12月16日付けで、「令和5年度の給食費及び学用品費について」「令和5年度の保育料について」と題する文書を市立学校児童・生徒の保護者、市立学校入学予定児童の保護者、保育園・こども園の保護者宛に出しています。これによると、園児・児童・生徒及びその世帯員の全員がマイナンバーカードを取得している場合、申請により保育料・給食費・学用品費の納付が免除（無償）になるとされています。

マイナンバーカードを取得していなければ、納付（有償）ということになります。マイナンバーカードを取得している者としていない者で納付免除に差があるというのは、教育基本法第4条の教育の機会均等に反し、新たな差別を生み出すこととなります。

これまで備前市は、保育料の無償化を他の自治体に先駆けて行ってきました。また、今年度実現した給食費、学用品費の無償化は備前市の誇るべき少子化対策で、市民も大変歓迎しています。そして、その子育て支援制度を知って移住をされた新しい住民の方も大勢おられます。

任意取得であるマイナンバーカードの世帯全員の取得を要件とすることは、市民の人権を無視し、かつ不平等な施策となっています。

私たちは、賛同を求める署名活動を通して広く世論に現状を伝え、新聞、テレビ報道、SNS等で大きな反響がありました。

マイナンバーカードの有無による教育の経済的差別政策方針を撤回し、備前市民である全ての子どもに差別のない平等な教育支援を求めます。

3 請願事項

マイナンバーカードを取得していても取得していなくても、園児の保育料、児童・生徒の給食費・学用品費について平等な支援を求めます。